

凌霜ラガークラブ H9年度 総会

最新版の会員名簿で、優良会員各位に御案内の通り、H9.11.13・大阪凌霜クラブで開催。

激励の為に招待された女性マネ1人を含む現役13人と共に
石崎 貴氏(S.59)の司会で下記のとうり盛大に開催された。

1. 最近亡くなられた会員(計報欄参照乞う)各位の
ご冥福を祈り全員で黙祷。

2. 太田会長(S.27)挨拶。

3. 田中初雄氏(S.12)の発声により“乾杯”
掛け声は Attack is best defence.

Hurray KOBE Univ!

4. 会計担当理事から状況報告

イ) 森内理事から前号#40号で報告されたH.8年の
決算報告: 予算 実出費 繰越金
699万 708万 361万

の運用・管理は正當に行なわれている旨、
監査理事・安中氏(S.32)から結果発表あり。
☆それにつけても、森内理事の御苦勞は大変なもの
と一同感謝・感激。

ロ) 当年H9の状況報告と

会員各位へ“会費納入”のお願い

本年H9予算は、#40号既報の通り、収入予算
631万円(繰越 361万、会費 240万、他30万)
で組まれました。

所で、10月5日現在で振込まれた会費は
タツタの81万円丈です。

たった81人しか納入してくれ
ていません。

全・会員数500人を有する有力クラブで
会費納入要会員は440人も居られるのに。

ご理解頂く為に、再度ご説明しますと、
当会の年間必要費250万円(O.Bのみノ経費)

現役補助費150万円

合計400万円の経費が必要でして、
これは会員400人分からの会費に依って成り立つ
様に構成されています。

このような事情ご賢察の上、各位に於かれての
会費納入現況表を添えて会報をお送りしますから、
未納の方は漏れなく納入方お願いします。

5. H.10年度の現役監督に 川崎 光二(S.59)

こここのところ永年面倒見してくれた、葉室 力
氏(S.43)が、この程電通岡山支社長に榮転さ
れた一葉室氏のご貢献に当会から厚く御礼申し上
げ、新任地での一層のご活躍をお祈りします。

↑ ついては、監督継続が不可能となる。

目下シーズン中の為、後任臨時監督としてコーチ
の阪下 喜治氏(S.48)が当たり、川崎氏にはその
ままFwコーチを続けて戴くが、来・新シーズン
から現役部の監督をお願いします。

6. 現役陣から

Captain: B4: ②: 古沢君、

本日迄に6戦たたかい、甲南大に1勝しあと5敗。マ
イボールの継続を狙ったが不十分で負け。スキル不
充分を痛感。残る関関市大の3戦に死力を尽くす。

Fwリーダー: A4: ⑧: 梶川君、

敗戦続きの上に、自分自身も怪我で残る試合に出ら
れ無いのは腑甲斐なく残念。O.B諸子応援願う。

V.Captain: B4: CTB: 黄村君、

部員は55~60人も居るので、その中からより勝れた
1本目を構成しようと努力するが、怪我人続出で固
定メンバーが組み得ないのが難。とは言いつつ残る
試合に全力を尽くす。

Bkリーダー: D4: ⑩: 平田君、

残る関学・大市大・関大の3戦の機会に全力を尽くす。

これに対して 会員(O.B)から一言

野村 康治氏(S.34)から、

現役の現況報告を伺っていると、Fw陣にはCaptと
Fwリーダーが居られ、Bk陣にはV.CaptとBkリー
ダーとが居られる様だ。私の現役時は、その様な
1ブロックに2リーダーが並存する事は無かった。
だからゲーム中の指示系統の乱れからの苦戦招来を
懸念する。ゲーム・リーダーは誰か、判然としてい
ますか?

阪下代理監督(S.48)から回示、

目下の如く部員数が60人も居ると言う大所帯では平
時には、現行の様なダブル・リーダー・システムも
必要。戦時にはゲーム・リーダーを確り決めさせて
居りますから御安心下さい。

有力・名物O.Bからも一言、

来年は、伝統ある当部の記念すべき75周年を迎えま
す。記念すべき年にCリーグへ陥落する様では駄目
だよノ残る3戦に全力を尽くして留まれ。

7. その他

イ) 来H.10年は、当部も75周年を迎える由。記念
行事をどのようにとり行なうか、12月15日(月)
に東京からも理事を迎えて臨時理事会を開催する。

ロ) 土岐氏(S.54)は神戸クラブにも所属して居られ、
9月14日に、神クvs旭硝子 戦にて大怪我を負
われた、容体は非常に危険。当部の有志者からの
支援が待たれる。(詳細については本紙に別掲記事
を掲げる。)

ハ) 凌霜ラガー・ゴルフ

次回の懇親コンペは、H.10.1.31.に、関西GC・C
で行なう予定。幹事はS.51 卒吉川氏

二) H.9年版会員名簿刊行

西松理事の努力でこの程会員各位に配布済。

数々の苦難を、来る75周年を明るく迎えられる様に全員の協力を要請し、商神とエールで幕。

恒例の、O.B / 現役 親善対抗戦

H.9.4.29 快晴。J.R 六甲から阪急六甲にかけて登って行く。メイン道路添いは、この2年間で可成復旧されたようだ。

12:30分にグラウンドに着く。両軍選手の群れが元氣よく走り回りアップに余念無い。

中山源七氏(S7), 鈴木尚敏氏(S6), 田中初雄氏(S12), 木田氏(S24), 太田会長(S27), 子安氏(S29), 名取東京支部長(S30), 西松氏(S31), 安中監事(S31), 野川氏(S33), 国沢氏(S40), 葉室監督(S43), 河野氏(S52), 森内会計理事(S56), 等等、見知りの顔がそれぞれ元氣に楽しそうに三々五々集まって来た。

五年前に惜しくも亡くなられた長谷川氏(S38)の奥方が代理で参加された。何え、この方もS.38年の神戸大出身者で、久し振りに母校を訪れ、亡夫が愛したラグビーの仲間達にお目にかかれるのは大変に嬉しい。能うなら当会の行事に参加させて戴きたい、との意向を洩らされた。会報の送付は簡単に可能の旨を表明。 そうこうする内、

O.B軍のメンバー表が来た、①藤井(H7), ②諏訪(H4), ③堤(H6), ④遠藤(S60) 安武(H8), ⑤則定(H9), ⑥山田(H8) 溝口(H8), ⑦三宅(H5) 村上(H7), ⑧川崎(S59) 遠藤(S60), ⑨末益(H6) 田中学(H6), ⑩堀(H7), ⑪平松(H6), ⑫高藤(H7) 森岡(H1), ⑬橋本、市東(H9), ⑭山際(H3) 大森・加福(H8), ⑮辻(H8), 楠谷(H6)、となっている。平成組が主力のようだ。

13:05 キック・オフ	30分ハーフ	で開始。
前半: <O.B側>		<現役側>
球への寄りが良く		
3T, 1G (17点)		2T, 1G (12点)
後半:		走り勝ち、巻返し
2T, 1G (12点)		5T, 2G (29点)
Total: 29点		41点

で、今年は現役組に凱歌が挙がった。試合中に現役Fwで、左肩脱臼し急遽 西病院へ送られた者がでた。大した事無ければと願う。

懇親会

16:20分~

六甲台学生食堂にて、辻氏(H.8)の司会で開催。

太田会長(S.27)挨拶:特に後半になって、現役有望の姿勢の片鱗を見た。あのように、球の下へ相手より多数集まってワーク出来れば良い。

田中初雄氏(S.12):激励挨拶と乾杯発声。

滝川先生(部長):挨拶。

葉室監督(S.43):好タックルから、良リズム造りを。

現役、古沢 Capt, 実光主務から挨拶。

先輩達から一言:

中山源七氏(S7), 90才でも未だ元氣、現役頑張り。

鈴木尚敏氏(S6), 目的を持ち、元氣よく頑張り。

子安氏(S29), ルールを理解し、スタミナ付けし頑張り。

名取東京支部長(S30), 低いタックルでの好ディフェンスが出来るチームは強くなる。ボールへの寄りを如何に早くするかを常に目標として練習するように。

尚、会員120名を擁する東京支部長を努める事にな

り責任を感じる。

西松氏(S31), ラグビーは好タックルからノガンバレノ安中監事(S32), 昨年は関大戦を観た。今シーズンも能うかぎり応援に行く積もり。頑張り現役。

野川氏(S33), 本日の戦いで現役は、前半はボールへの寄りが不良。後半タックルから寄りが良化。

河野氏(S52), 現役ガンバレノ

森内会計理事(S56), O.Bは何時も現役を支援しています。今年も150万援助する。ガンバレ現役。

川崎氏(S59), 神大が何をやって来るかを相手校も研究して来るから、それに打ち勝つ必要がある。

石崎氏(S59), 部員数が少々減ってもヤレルぞ。

森岡氏(H1), 夢野台高校でラグビー部顧問中。一点差でも“勝ちに”持ち込め。

三木氏(H2), 現役ガンバレノ

この後も、O.B会員出場メンバー一名で紹介した、平成の若手会員と、岡田典子氏、小畑恵美子氏(H6)等から現役への励ましの言葉が続き、

新入部員(H.9.4.29 現在9人)の紹介が、始まった。

石田君(福井県出身)	羽根田君(四条畷・Rock)
北田君(四条畷・⑧)	中村君(大阪東高・⑩)
安信君(茨木高出身)	酒井君(摂津高・Prop)
西田君(京都市城南・⑨)	安松君(四条畷・C.T.B)
石丸サン(兵庫県出身)	

皆さん、文武両道の達人を目指して下さい。

フィナーレ

近席の会員と近況を交わしてチェリオ、お互いの活躍を祝してトースト、健康を願ってプロージットと杯を重ね、最後に会員・部員 新旧一同“商神”、今年もマダマダ・オンチだが、精いっぱい歌い、当会と我等の後輩の健闘・発展を願いつつ幕。

理事会 10月23日

秋の総会の準備が主体で、その他の事項打合せもあり、10月23日・18時~大阪凌霜クラブに集まる。

打合せ事項

1. H.9年度・総会について。

日 取 は: H9.11月13日 に

場 所 は: 大阪凌霜クラブ で

時 間 は: 18:00~ にしよう

当日会費は: 幾ら徴収しようか? ¥3,000

次 第 は: 会長・部長の挨拶。

H8 決算報告(明治大ラ部の会計不祥事問題もあり、当会も良く配慮する要あり。特に監事サンのチェック強化依頼)。

H9事業計画と、予算の承認依頼。現役部の状況発表させ、又今シーズンの健闘要望。

その他。

その案内は: 誰が、どの様に、何時迄にヤルカ。

2. 東京支部の活動状況の報告と、提案事項。

状況について: 名取サンが支部長に就かれてからエライ活発に動きはるワ、事務局の久我氏(S37)もヨウ連絡して呉れハルシ。

いろいろ報告聞く。

(7Pへ続く)

土岐隆朗君(新制27回 S54年卒)の脊椎損傷事故の経過報告

小松規秀(S.54年卒、鐘化・高砂 勤務)

9月14日、神戸クラブと旭硝子との試合にて、神戸クラブのフッカーとして出場していた土岐君は、スクラム時のトラブルにて頸部骨折、脊椎損傷の大怪我を負いました。すぐに、加古川市民病院に運ばれ入院しましたが、首から下が完全に麻痺、特に呼吸器系の神経が麻痺し、人工呼吸に頼る非常に危険な状態が、40日以上経過した10月末現在まで依然続いています。その間、ご家族は、24時間付きっきりで懸命に看護をされています。

治療とご家族のためには、治療体制が整い、かつ自宅から近い病院への転院が必要でしたが、ご家族と病院関係者のご努力により、10月末に堺市の大阪労災病院へ転院しました。

凌霜ラガーの皆さんには、長期にわたり非常に苦しい闘病生活をしていかなければならない土岐君とご家族に対して、ご支援をお願いします。彼は今絶望のどん底にいます。今は第一に生きていく精神力を持ってもらわなければなりません。そのために、まず、凌霜ラガーの仲間として彼に激励の手紙を書いて励ましてください。また、病院に行ける方は、顔を見て励ましてください。

なお、土岐君は、現役時代はフッカーとして、卒業後リコーに入社し現在まで神戸クラブでフッカーやフランカーとして活躍されていました。また、凌霜クラブでも主力として活躍されていました。

土岐君の状況等については、小松規秀(S54卒 TEL078-991-7049)

東京地区は廣田達也(S54卒 TEL048-883-6489)

まで問い合わせください。

手紙の送付先 〒559 大阪市住之江区粉浜3-15-36 土岐隆朗

入院先 大阪労災病院 〒551 堺市長曾根町1179-3 TEL 0722-52-3561~5

地下鉄御堂筋線新金岡駅 徒歩約10分

吉田一毅 (H.5卒、
福祉のまちづくり工学研究所)

クラブの皆様、O.B戦の折りには、際々のご招待有難うございます。

当方、六月末でリハビリ・センターを退所しましたのでご報告致します。

そして、この七月からアルバイトではありますが、同センター内の「福祉のまちづくり工学研究所」で働く事になりました。来年三月迄の期限付きなので、その間に出来る丈の事をする積もりです。

幸い、この春からの所長サンが建築学科の多淵先生(副学長)でして、とても善くして頂いて居ります。

随分と長い間リハビリばかりの生活でしたから、この新しい仕事には不慣れと言うか、分からない事だらけですが、一から始める覚悟で頑張ります。

当方へのご連絡は、神戸市西区宮下1-26-2

Tel 078-924-7525

DoCoMo 080-98-25834

宛てに下さるよう、お願いします。

社会が変わって行く事を夢見、地球環境問題を夢見て、この世界に入った、…”との話が耳に入って来た。

心に響く言葉でしょう。

自分の最善を尽くすのがどんなに良い事か、何事も初めは自分一人だった。 等々

ガンバッテ 生きヨ / 土岐氏。

10月23日の凌霜ラ部理事会で貴君の大怪我が吉川氏(S.51)、小松氏・広田氏(S.54)から報ぜられ、引受病院を何処にするか・保険は凌霜クの方でどうか、等々真剣な打合せ在り。

皆、君の回復を祈り・願っている。

君だけがケガ人では無い、吉田君もケガした、その他にも居られるし。

勤める会社にしても、大の山一証券も北海道託殖銀行が今の今突然につぶれたが、15万人にも及ぶ各々の社員と4万人の家族が全てに絶望して皆が死んでしまう事は決してありません。失業を余儀なくされる事になった御本人も、第一にその御家族の愛と次いで回りの支援で何とか立直ろうとシンドイ気持ちを抑えて、今は先ず自社が抱えている多くの他処への残務を処理する事に、敢えて専念しています。

さて、その後の自分自身の立直りの方法ですが、例えば左記の吉田一毅氏も苦しくも在るが、何とか努力してこれまで回復されて来た、…今の今、12/1夜 10:30分からのNHKのナイト・エッセイ放送で、現在京都で行なわれている地球環境会議の一環として一論を放送しているのが耳に。論者は“高木ヨシユキ氏”と名乗って居られたが、“このような地球環境のN.G.Oの仕事に携わったのも元といえば、自分は交通事故で首に負傷し一生不治といわれたが何とか立直り今このように皆様の前で講演出来る迄に回復した。これも当時は大変心細く非常に不安だったが、自身の復活の為には自身の全てを捨て、

“声を出すことの考”

石谷 伊利
(S.41卒、鹿島建設 勤務)

テレビを付けると、プロ野球日本シリーズ第2戦が行われていた。西武の鈴木健の詰まった打球は遊撃手宮本と左翼手ホージーの間にフラフラと上がった。

どちらか早く“声を出していれば”何とかになっていたのに と思うのである。

ラグビーでも、ボールの持ち過ぎ、苦し紛れのパス、モール・ラックからのタイミングの悪い球出し等、同じように「声さえあれば何とかになっていたものを」と感じる。

ラグビーにおける声(言葉)とは何だろうか?と思いを巡らせた。

ラグビーの試合では、監督やコーチに頼る事は出来ない為プレーヤー同志が声を出し、お互いに指導し合わなければならない。「声のプレー」も必要となる訳である。ボールを持ったプレーヤーが抜けた。後に付いたプレーヤーは「右に付いた」という(状態を表す)声を出さなければならない。ボールを持ったプレーヤーは後に味方がいる事で余裕が出来、次のプレーに思い切って行ける訳であり、又プレーの幅が広がる。然し、敵とコンタクトした時には、「右へ廻せ・浮かせ」等の(位置・方向、次の動作)の声に換えてやらねばならない。

コンタクトした時こそ どちら向きに・どうすれば効果的であるかが、決定されるからである。

これには、一瞬の判断が必要であり、出来るだけ短く的確なもの でなくてはならぬ。

声のプレーは、常にボールの側にいるスクラム・ハーフは言うに及ばず、他のプレーヤー全員が常に練習中から心掛けておかねばならない。一朝一夕に出来るものではないからである。又、声は 大きく・よく通る方が良く、発声練習をやった方がいいと思うくらいである。

練習中には、更に付け加えて、極めて論理的・且つ科学的な声が必要となる。例えば「ボールは両手で持つ」と言う声はラグビーでは常用語であるが、両手で持つ事は、①ボールを落とさない(ノック・オンしない)。②何時でもパスする体勢が出来ている。③相手とのコンタクトの時、ボールコントロールし易い。と言う声を加えると、理解がし易くなるであらう。又、「ボールを奪え」と言う声には、①体をゆさぶってボールを取る。②ショルダー・ダウンを使ってボールを取る。③ボールを意識的に上方に押し上げると、相手は下方へ落とそうとする為、その時のタイミングを利用してボールを取る。と言うような声加われば、プレーヤーはただ勘に頼らず、技術の上達も早く、確実なものになるのである。

以前、小学生にラグビーを教える機会があった。グラウンドの対角線の端から学校名・自分の名前を怒鳴らしてみた。他端で明瞭に聞き取れる様になる迄続けた。小学生であるから声のプレーが上達す

る迄には至らなかったが、とにかく元気なチームに成った。

そうなんだ! “声を出す”と言う事の最大の効果は「元気になる事」なのである。どんなにヘバッテいても、声を出せば元気になれるし、緊張感も再び生まれる。

声は、チームのバロメーターである。声が良く出ているチームは元気が良く、調子がいい。

是非、大きな声で、元気のあるチームであって貰いたい!

“その後”

岡田 典子
(H.6卒、(株)トーメン 勤務)

卒業して、早や4年が経とうとしています。会社では、ひたすら仕事をし、反動でアフター5は脱力し切って、その分週末には 思いっきり遊んで充電する。毎日が充実し過ぎていて、何やら分からぬ間に過ぎて行く日々です。

学生の頃には、どっぷり浸かり切っていたラグビーにも、今ではすっかり御無沙汰しています。

こんな私も、入社してから暫らくは、会社のラグビー部に引き込まれ、マネジャーをしておりました。会社のチームでは普段の練習というものは皆無で年に数回ある試合のみブツツケ本番で活動していました。当然、強い訳がない。社内にはラグビー経験者が非常に少なく、試合がある度に、人数集めに奔走していました。チーム構成は、いつも半数以上が社外の人と言うトーメン・ラグビー部でした。

その節は、神大O.Bの方々にも助人として活躍して頂き、有難う御座いました。

学生気分を思い出させてくれたラグビー部なんです。部員不足のため、今ではもう活動しておりません。

誰か後輩が、トーメン・ラグビー部を再建してくれることを願いつつ、これからもラグビーを通じて出来た人々との繋がりを大切にしていこうと思いません。

日 本 選 手 権

協会機関誌・Rugby Football から。

第35回大会の開催方式が右図の様に決定された。過去34年間、社会人と大学の優勝チームが日本一を争う現行方式は、社会人の力が学生を大きく上回る事が現実となるに従い、一旦は「社会人大会の決勝が日本選手権を兼ねる」とも考えられたが、根強い学生ファン層の 向上・挑戦・躍進を期待しての心も尊重し、今後企業および学校関係者の理解を戴きながらより良いラグビー界が構築されて行く事を期待しつつ決めた。

“六甲台の思い出”

星川 翼 (S.52卒、住友商事 勤務)

10月の声を聞くと、毎年大学のラグビーのシーズン到来を迎え、今年は何処が強いかと、土日にT.V中継を見るのを楽しみにしています。

関西を離れて20年近くになり、母校始め関西の大学の動向がなかなか耳に出来ないのは残念ですが、今年こそ神戸大強しの朗報を聞きたいものです。

さて、そのような事を考えていた矢先、会報への寄稿依頼があり、了承はしたものの何を書いて良いものか。まずはタイトルに関連しS.52卒の仲間を紹介しながら筆を進めて行く事にしましょう。

入部(S.49)当時の母校は、三部から一年で脱出して、二部で2年目のシーズンを迎えていた。今からは想像できないだろうが、部員が少なく、(H8主務・有地君の言では、「新入部員8人で、現在55名では目標の60人に充たない」から更にリクルートに努力中との事)、特に4年生3人・3年生5人と上級生が極端に少なかった。

我が52年卒は、全員で9名であり、ポジション順で紹介していく、と

先ず、プロップの河野君 (Vice Capt.)。ゴツイ体・顔に似合わず器用なプレイを披露していた。現在もゴルフに於いてのショート・アプローチは抜群。浪人中に苦勞したせい、我が部の相談役であり、まさに精神的支柱であった。

ロック、まず木村君。今で言えば早稲田のロック・タイプで、将に仕事師であった。スタミナも抜群で3年時の最終戦、敗れば下位との入替戦へ、でのノーサイド寸前、相手キックを背走レタッチに逃れたプレイは今も脳裏に焼き付いている。

もう一人のロック、糸井君。大学からラグビーを始めた情熱の人。デストロイヤーの渾名の如く、激しいプレイで敵を壊すだけでなく味方をも傷つけるくらい。

スクラム・ハーフは、谷さん。(筆者出身の兵庫高での先輩故、大学同期でも筆者のみ、サン付けで呼

んでいた) 年令を感じさせない若々しさはプレーのみならず、私生活でも発揮されていた。当時から流行り出したスクリーン・ボールを逸早くマスターしたのも谷さんであった。

ウイングは3名。先ず、河島君。素質抜群で、大学からラグビーを始めたにも拘らず、一年生の後半からレギュラーを獲得。駿足のトライゲッターであった。ただ、あまり早く開花したのか、学生生活後半は若干年が目立ち怪我もあったのは残念。クラブの宴会部長であり、対面を笑わせながらステップを切って抜いて行ったとの伝説もあった。

二人目は、室君。2年生の時にバスケット部より転向。六甲台の明るさに惹かれたとの事。とにかく足の早さは抜群。スワープを切ることも無く直線的なスピードでゴールに向かっていった。ただ、バスケットのわりにはハンドリングに問題あり、強烈なノックオンでボールを10mは前に飛ばしていた。

三人目は中崎君。何とプロップからウイングに転向し強いウイングとして活躍。4年生の時の大一番・関学戦でのタッチ・ライン際を30M走り切ったトライは秀逸であった。

フルバックは山形君。冷静なようで気が強く何を考えているのかよく分からぬ面もあったが、小柄な体をはって最後の砦として、確実・堅実なプレーヤーであった。試合で歯を折り、マウス・ピースを嵌めて試合に臨んだのは彼が最初ではなかったか。

最後は筆者、中学3年生で初めて見たラグビー(全日本 VS NZ戦)に感激し、高校(旧神戸二中・現兵庫高)の入試が済むと入学式を待たずに入部したラグビー狂。学生時代は、CTB,SOをやったが今で言うクラッシュ型のプレーヤーかも、尤も本人は華麗なプレーを目指していたのだが。怪我が少なく、一年生から全試合出場を目指したが、残念ながら実現できなかったのが心残り。

このような愛すべきメンバーと良き先輩・後輩連に恵まれ、一部に復帰するという目標は叶えられなかったが、充実した四年間であった事を、今も誇りに思っています。

小生、海外駐在(チリ)から帰国後三年間、会社のラグビー・チームの監督を努めたが、現在のラグビーはルールも変わり、試合運びも昔とは大きく変わっていると感ずる。

然しながら、以下のラグビーの基本は全く変わっていないのも事実、です。(基本三要素)

— 80分間動き回り得るフィットネス (これが一番重要でしょう)

— 直線的に走るスピード。

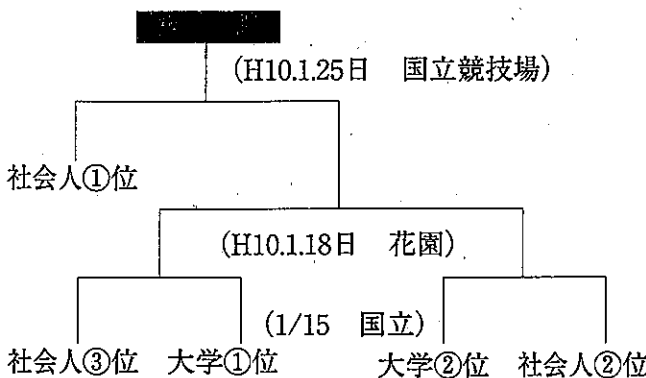
— 敵のボールを奪う(殺す)ハード・タックル。

現役諸君も、我々が汗を流したのと同じ六甲台で毎日激しい練習をしている事と思います。

ルールに習熟し、自チームの戦力(得意分野)を善く分析し、試合運びを考えると共に、基本である3要素を確り身に着け(これをやらないとラグビーの試合に成らない)、目標を達成される事を期待しています。

新方式

資料提供：山下 弘(S.33)



東京支部の状況

事務局 久我健夫 (S.37卒)

5月23日にTF会を東京凌霜クラブで開催
名取支部長 (S.30), 山下 (S.33), 久我 (S.37), 三島,
松村 (S.38), 中重, 松下, 小玉 (S.39), 谷口・井上
(S.41), 脇 (S.44), 高岡 (H.4) が集まり楽しい一時
を過ごした。
(TF会、スロー・フォワードの略、S.37~40卒の凌
霜ラグーマンを中心に、2ヶ月に一回、東京凌霜ク
ラブに集まっている。)

7月30日：支部幹事会を開催

東京凌霜クラブにて、18:30~

名取支部長 (S.30) から

- ① 4月29日に行われた、O.B/現役戦と懇親会につ
いてのお話があった。
② 8月15日~22日迄菅平で行なう予定の、
現役合宿への参加要請があった。

山下理事 (S.33) から

- ③ 神綱ラグー林氏が最近著書を出された。その記事
の中に“7連覇偉業達成の陰に神大ラグビー部あ
り”の話もある旨、紹介された。

久我事務局長 (S.37) から

- ④ 会員名簿の連絡宛て先は、異動ある都度刷新して
おく要ある。その為には、各グループ幹事サン
のご協力が必要なので、協力を要請。
⑤ グループ幹事の異動。
Dグループ (S.47~51) の幹事
並川氏 (S.47) 住商ベトナムへ転出。後任決要。
Fグループ (S.59~63) の幹事
三森氏 (S.59) 帝人大阪へ転出。後任決要。
Gグループ (H.1~) の幹事
橋本氏 (H.2) 興銀アメリカへ転出されたので。
後任
田中悦二氏 (H.2) にお願ひする。

中野区本町 4-28-9-303 (03-3229-3843)
朝日新聞・不動産業務 (03-3545-0131)

〈出席〉名取支部長 (S.30), 野川・山下 (S.33),
松村竜 (S.34), 山口秀 (S.36), 久我 (S.37),
三島・松村英 (S.38), 小玉・中重 (S.39),
石谷・深山 (S.41), 三森 (S.59)

9月25日：支部幹事会を開催

東京凌霜クラブにて 18:30~

- ① 東京支部の総会

来る、平成10年2月に開催します。
ついては、近々準備幹事会を召集して討議す。
その際、柏木氏、伊東氏、山本等氏、柴田昭氏、平
木幹夫氏、坂口舜平氏、等のご長老先輩にもご出
席をお願いする。

- ② 当クラブの75周年

来年、平成10年は創立75周年に当たる由。記念
行事を取り行なうべし。
東京支部としては、名取支部長、野川・山下 (S.33)
両氏の3氏に、本件にかかる本部への提案等、担
当戴くことにした。

- ③ 新刷された会員名簿に記載されていない、曾ての
-
- 神大ラグーマンの取り扱いに就いて意見が交わさ
-
- れた。

★東京支部で出たご意見をお聞かせ下さい。

本件は、大阪での理事会でもしばしば話しが出
ます。

大方の難点は長期間会費不払いが因です。

全会員は500人で会費納入義務者は、440人です
が、ここ数年の会費納入者は240人です。出費は
純O.B用で、250万円+現役支援用150万円、つま
り400人が納入してくれることを期待しているの
です。

浜田 (S.33) 個人の意見ですが、円高の今日の事だ
から海外勤務の方々にも会費を納入して戴き度
い。とにかく、此のクラブを愛し・時々は行事にも参
加し・その代わり文句もタレテヤロウか (その様
なご意向をドシドシ会報へお寄せ戴き度い) と
言う気を持った方が今の様な世相の中では良いし、
そんな気分の方々が、ポケット・マネーを払って
やろうかとの心を持った時が本当の会員なんです
よ。

何んで私・又は彼は会員名簿に名前が無いン
ヤ? の問題が今回東京から提示されたのは丁度良
い機会でしょう。

読者諸君からのご意見を会報へお寄せ下さい。

- ④ 東部の年次グループ制度枠増加申請と了承。
-
- Gグループ (H.1~) の支部会員の数が約60人
-
- にも達し、幹事の負担が過ぎる為、増枠し、Hグル
-
- ープ (H.6~) を新設。

- ⑤ 東京支部の幹事・変更と新任 (④項をうけて)

Dグループ (S.47~51) 幹事

吉田昇氏 (S.48) ……並川氏の後任

☎045-721-0476 横浜市南区別所中里台44

☎03-3285-1739 東京海上・営業企画部

Fグループ (S.59~63) 幹事

安井健吾氏 (S.61) ……三森氏の後任

☎0463-36-7963 平塚市河内442-2

☎0463-22-6405 コマツ (株)

Gグループ (H.1~5) 幹事

田中悦二氏 (H.2) ……橋本氏の後任

☎03-3229-3843 中野区本町4-28-9-303

☎03-3545-0131 朝日新聞・不動産業務

Hグループ (H.6~) 幹事

福井真理子氏 (H.6) ☆帰国早々ご苦勞様ですが
宜敷く願ひます。

★心配は、近々マレーシアでのお仕事がある由、
幹事役が出来ますかネー。

☎045-333-5727 横浜市保土ヶ谷西久保16

☎045-521-1231 千代田化工プラントエンジ3部

- ⑥ その他

山下理事 (S.33) から、今年の“関西大学Bリ
ーグ日程表”の提供を受けて種々話合ったり、山口
秀夫氏 (S.36) から、“S.36・37・38年卒凌霜ラグ
ーマンの「卒業35周年の集い」を宝塚で行なった、
故・土居氏夫人、長谷川夫人もご一緒で”との和
やかなお話しも出た。

上記の如く、有意義に尽し、次回を約して完。

現役の状況

報告: 主務・実光 力 4回生
副務・村上 史 3回生
マネージャー・矢原奈諸子 4回生

近況に付きまして、下記の様にご報告申し上げますと共に、今後ともご指導・ご声援下さいます様お願い致します。

A. 春シーズンの結果ご報告 (三商大戦、含む・◎印)

4月19日	×	神戸大	0	—	71	関大
27	◎×	〃	17	—	41	大市大
5月4日	◎×	〃	31	—	48	一橋大
11	○	〃	57	—	0	奈良教
17	×	〃	7	—	28	大教大
18	×	〃	0	—	109	京都大
24	×	〃	10	—	31	甲南大
31	×	〃	12	—	34	医学部
6月1日	○	〃	58	—	20	阪学院
14	○	〃	24	—	22	関学大
22	×	〃	33	—	41	天理大

☆此の結果、H.9年の三商大戦は、最下位。

当番校 : 今年、H.9年は神戸大学でした、
来年、H.10年は大阪市立大学です。

B. 夏合宿

H.9.8.14~8.23日迄

場所は昨年と同じく、菅平で行なった。

宿泊先: ホワイトダボス・マサキ

長野県小県郡真田町菅平高原 ☎0268-74-2673

8.15日、16、17日はABマッチ。

19日、対・北海道大学と成城大との練習マッチ

20日、対・山梨学院大と、

21日、対・創価大と、

22日、対・立教大と、練習マッチ。

O.Bの参加者

名取氏(S.30), 西松氏(S.31), 山口氏(S.36),
阪下氏(S.48), 奥村氏(H.9), 榎本健二氏,
戸田英樹氏, 平松仁志氏, 八木 亮氏,
北浦宗一郎氏。

以上10名のご参加を得ました。

☆各氏にご苦労さまの御礼を申し上げます。

尚

榎本氏は、三菱自動車に内定、H.10入社予定。

戸田氏は、第一生命に、

平松氏は、アンダーセン・コンサルティングに、

八木氏は、富士銀行に、

北浦氏は、住友生命に、

各々就職内定しておられる由、お目出度う。

無事H.10に卒業し、入社し、今後は会費を納入して頂くようお願い致します。

C. 関西大学Bリーグ戦の状況:(H.9・11月末迄。)

第1戦	9.27(土)	●	神戸大	5	—	40	大商大
第2戦	10.5(日)	●	〃	17	—	38	大産大
第3戦	10.12(日)	●	〃	3	—	32	大教大
第4戦	10.26(日)	○	〃	28	—	18	甲南大
第5戦	11.2(日)	●	〃	12	—	58	天理大
第6戦	11.9(日)	●	〃	7	—	38	京都大
第7戦	11.23(祝)	●	〃	18	—	24	関学大
第8戦	11.30(日)	〃					大市大
最終戦	12.7(日)	〃					関西大
入れ替え戦	12.14(日)						

《本部・理事会事項》

(2pの続き)

2. 東京支部からの提案事項: 当クラブの75周年記念行事も、それ相応に大いにヤルベシ!との意向。いつになっても関東軍強しや、東京支部では支部長・野川、山下(S.33)氏等が諸案を建てて、関西へ乗り込むとスゴイ意気込みやネン。本部としては記念対抗試合とか記念ミーティング位だけなら何とかコナス事が出来るが、記念史誌の発刊となると発行業者選定迄は可能やが、資金集め・資料収集・原稿作成は誰がやってくれルンカ? これは中々困難な問題でせ。何れにせよ“記念事業問題”は12月15日(月)に、東京組にも集まって貰って討議しましょう。12.15(月)・18:30~・大阪凌霜クラブにて。

3. 現役部の監督に、川崎光二氏(S.59卒)を。永年お世話になった葉室氏(S.43)が電通岡山支社長としてご栄転される。

中継ぎ後任は、現コーチの阪下氏(S.48)にお願いし、来シーズン頭からは、現Fwコーチをお願いしている、川崎氏に就任して頂く。

次期コーチを、山口 基氏(S.61卒)に引き受けて頂くようお願いを続けている。

4. 土岐氏(S.54)の大怪我について。

吉川氏(S.51), 小松氏・広田氏(S.54), 等が目下対策中、詳細について別記する。

5. ゴルフ: 次回1/31(土) 関西G.C.Cの予定で交渉する。

平成9年会費納入者一覧(略敬称)
(11月13日現在)

ご寄付:木田郁夫(S.24)

納入者:

- S. 27 太田、山口
- 28 森本
- 29 子安、西松
- 30 名取、横田
- 31 松本、小林、伊藤、永井、西松、高塚
- 32 安中、小川
- 33 野川、山下、浜田
- 34 野村、村尾
- 35
- 36 山口
- 37 久我
- 38 松村
- 39 中重
- 40 國澤
- 41 谷口
- 42 佐々木、向井、岩崎
- 43 寺西、葉室
- 44 田中、用水原
- 45 清水
- 46
- 47
- 48 藤本、阪下、渡辺
- 49
- 50 吉澤、森田
- 51 吉川
- 52 河野、山形
- 53 中野、磯江
- 54 小松
- 55
- 56 森内、本間、浜名
- 57
- 58 仁張
- 59 石崎、上森、川崎
- 60 青木、遠藤、玉置
- 61 向井
- 62 柴田、藤井
- 63 竹島
- H. 1 森岡、市川
- 2 三木、西松
- 3 藤川、山際、堀口(高橋)小百合
- 4 諏訪
- 5 児玉、三宅
- 6 東、楠谷、佐藤、田中、堤、平松、末益
- 7 堀、高藤、藤井、八木
- 8 山田、溝口、大森、加福、富永
- 9 久保、則定、市東、有地

会費納入お願い

我々の会です。OB間の連絡と、後輩支援とが円滑に行なえる為に、今年も貴方からの会費納入を宜敷くお願いします。(同封の郵便局用紙ご利用下されば、手数料不要ですよ。)

年会費 10,000円

- 住友銀行 天満橋支店
普通預金 No. 957978 凌霜ラガークラブ
- 三和銀行 大阪駅前支店
普通預金 No. 27557 凌霜ラガークラブ
- 郵便局
大阪 6-302152 (旧) 凌霜ラガークラブ
00960-4-302152 (新)

会費納入のお願い

貴方の会費納入状況ご通知の書類を同封しますので、参考にされ直ちに振込んで下さい。振込用紙も同封します。

関東大学ラグビー対抗戦

最終戦は、優勝をかけた早明戦となり、接戦の末、明治27-21早稲田で明治が勝ち全勝で2年連続13度目の優勝を決めた。早明の通算成績は、明治32勝39敗2分け。①明治、②早大、③帝京、④筑波、⑤日体、⑥青学、⑦慶応、⑧東大、の順。

関西大学ラグビー (A.リーグ)

最終戦は、京産大が同志社を破り、全勝優勝。京産大43-28同志社。①京産、②近大、③龍谷、④大体、⑤同志社、⑥大経、⑦立命、⑧摂南、の順。

同志社のリーグ戦第5位は過去最低で、3敗したのは4校制だった1948年以来49年ぶり。この結果、同大は、全国大学選手権試合に出場出来るかどうかをかけた12/8の、関西第五代表決定戦で、中京大と戦い、勝たねばならぬ。

神戸大も、今年は、今の戦跡では入替戦突入は必死であろうし、残念ながらそうだとすれば、12/14の入替戦には絶対勝ち残らねばならぬ。75周年記念の歳にCクラス陥落では話にならぬ。ガンバレ! フミ止マシ!

名門・八幡製鉄、社会人Bリーグへ転落

12/7に行われた西日本リーグ入替戦試合の結果、三菱自工水島27-3新日鉄八幡(ノー・トライ)で敗れ、創部以来初めてのBリーグ転落が決まった。此のチームは、日本ラグビー界を支えてきた大名門で、社会人大会で12度の最多優勝を誇る古豪。大会が50回目を迎えた年に転落。

全国社会人大会の優勝回数

- 12回: 八幡製鉄 (新日鉄・八幡)
- 9回: 新日鉄・釜石
- 8回: 近畿日本鉄道
- 7回: 神戸製鋼
- 4回: トヨタ自動車
- 3回: リコー
- 2回: 三菱自工・京都東芝・府中
- 1回: 九州電力量三井化学配炭公団サントリ三菱洋電機

訃報

北村 保 様 (S.2卒) H.74月 没の旨
ご家人からご連絡を賜る。
板野 亀八郎様 (S.9卒) H.8.10.6 没の旨
ご妻女・尚子様からご連絡賜る。
平松 彦四郎様 (S.10卒) H.9.8月 没の旨
ご長男・利彦氏からご連絡賜る。
水田 利雄様 (S.12卒) H.9.10.30 没の旨
ご長男・俊彦氏からご連絡賜る。
平尾 元宏様 (S.18卒) H.9.6.25 没の旨
ご妻女・延子様からご連絡賜る。
鈴木 尚敏様 (S.6卒) H.9.11月 没の旨
ご子息・敬様からご連絡を賜る。
氏は本紙2pにも記載ある如く本年のOB戦にも出席され現役を励まされた。此処に謹んで、御冥福を御祈り申し上げます。